

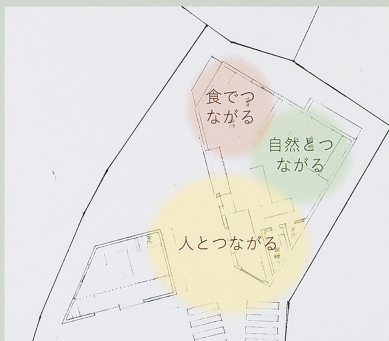
だいやめどき

—工務店が作る縁側—

鹿児島県は、農業の盛んな自然にあふれた土地である。活火山である桜島を中心にシラス台地が広がり、水捌けのいい土地で南の豊かな気候を生かされたはっけ(畑)が多く広がる。特にさつまいもの生産が盛んで、芋から作られる芋焼酎は鹿児島人の元気の源だ。この芋焼酎で人々は1日の疲れを癒すだいやめ(晩酌)をする。



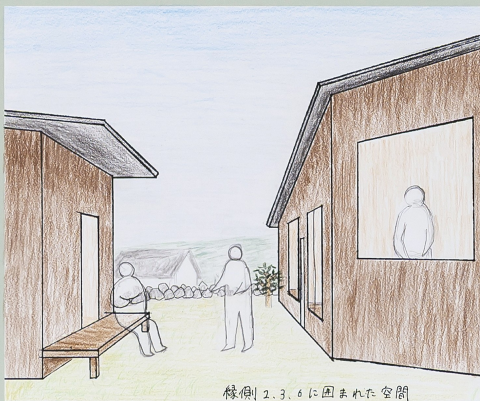
退職後の人生を南九州市額娃町で過ごすことに決めた夫婦がいる。海沿いの傾斜があるこの土地は夕陽がきれいに見える。しかし、家を建てるとなると難しい土地だ。そこで地元の工務店に依頼した。初めての土地で緊張していた夫婦にとって、とても助けになる存在だった。工務店の人の約介で知り合いが増え、この家に招くまでの中になった。縁でゆっくりしたり、お茶を飲みながら井戸会議やだいやめをしたりするのが至福の時間になる。



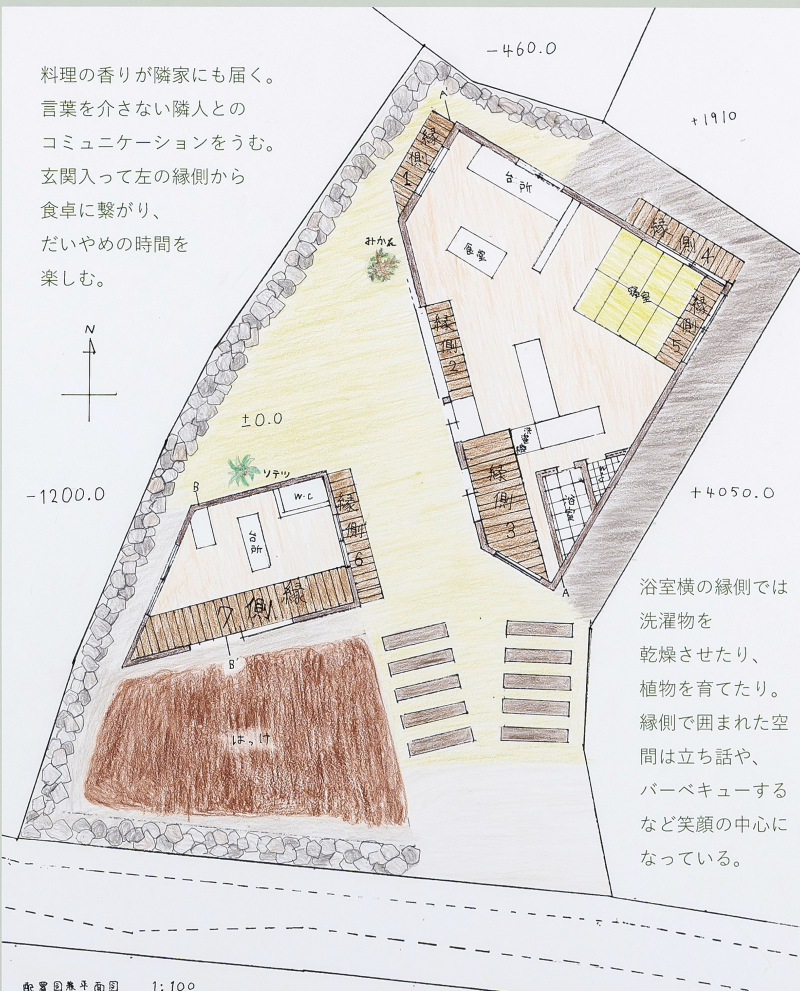
縁側は、平安時代から続く和風家屋独特の空間で、わたしはこれを和室ととらえた。屋内と屋外の中間空間は、婚礼などの儀式的場、地域の人々の語らいの場となっていく。縁側を多く含むこの家は伝統を繋ぎ、地域を支える場となる。



離れには普段畑仕事のための道具が置かれてある。友人を招いてお茶会をすることも、子ども家族や友人が訪ねてきた時のために客室となるよう簡易的な台所やトイレが備え付けてある。



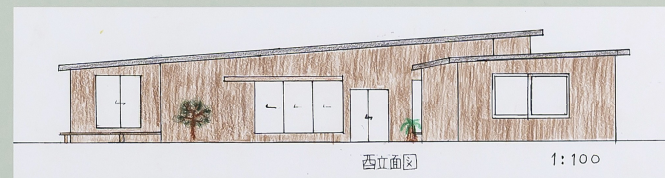
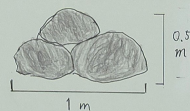
縁側 2, 3, 4 に囲まれた空間



料理の香りが隣家にも届く。言葉を介さない隣人とのコミュニケーションをうむ。玄関入って左の縁側から食卓に繋がり、だいやめの時間を楽しむ。

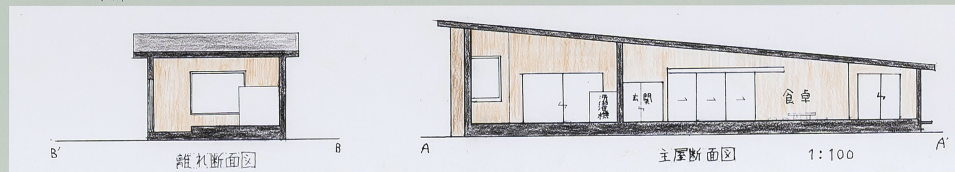
浴室横の縁側では洗濯物を乾燥させたり、植物を育てたり。縁側で囲まれた空間は立ち話や、バーベキューするなど笑顔の中心になっている。

建築基準法のため道路の拡張工事も行われた。点線—工事前 実線—工事後敷地周辺に石を積みあげて囲う。



西立面図

1:100



離れ断面図

主屋断面図

1:100

寝室は、縁側で家裏とつながり、石垣で囲まれている。閉鎖的だが屋外と連なる空間。

きのこなども自家栽培したり、趣味の絵画を楽しんだりする。

植栽
桜島小みかんは、鹿児島ならではの特産品だ。小柄な実が特徴的で、みかんの皮は防虫効果がある。南国の雰囲気漂うソテツは、魔邪けの効果をもつ。はっけでは、キャベツやトマト、さつまいも、たいこんなど四季折々の野菜を育てる。

面積表

敷地面積	: 558.12m ²
建築面積	: 163.80m ²
主屋床面積	: 122.30m ²
離れ床面積	: 40.00m ²
延べ床面積	: 162.30m ²
建ぺい率	: 29.35%
容積率	: 29.08%